

基板図作成について

サービスマニュアル内容構成で、基板図を記載する場合は、基板(パターン)設計CADのデータを使用します。基板設計CADデータで使用するのは、シルク版、パターン版などです。はんだ付け等に使用するマスク用の版などは、使用しません。

シルク版

基板作成後、部品の情報や方向、位置などを基板上に印刷を行います。シルク印刷するための版がシルク版です。シルク版の文字情報は、テキスト認識されている場合は、サービスマニュアルでもそのままテキスト認識させます。部品検索時に検索対象とすれば、実際の部品位置が基板図で検索できるようになります。

パターン版

回路図上の結線を、基板上に取り付けた実際の部品を導通させるための河で、パターンと呼びます。パターンは、サンドイッチ構造をとることができ、カーステなどの製品では、スペースや耐震・耐信頼性のために、7層構造などになる場合もあります。通常サービスマニュアルでは、物理的に見える表面(部品面)と裏面(パターン面)の2面を記載します。基板の密度により、部品面側にもパターンがある場合もあります。また、チップ部品などの使用もあります。

